

部族民通信

YOUTUBE

神話学 3

2

人類学

講座

生と調理

2023年10月~24年7月期

部族民通信 人類学講座 レ
ヴィストロースを読む

神話学 Mythologique

SNS活動

ホームページ WWW.tribesman.net
ブログ <https://blog.goo.ne.jp/tribesman>
XTwitter部族民通信@9pccwVtW6e3J3AF



Claude Lévi-Strauss
1909~2009
(Bororo族調査時、1936年)



Mythologique
神話学3 生と
調理 2

A la musique、Chabrier 曲 プラソン指揮
ソプラノ バーバラ・ヘンドリクス
トゥールーズ国立オーケストラ、Halle
aux grains で収録（1989）

今回投稿の最終に

左音源を手にしたので
著作権に触れない程度
10秒ほど、再生します
（部族民）



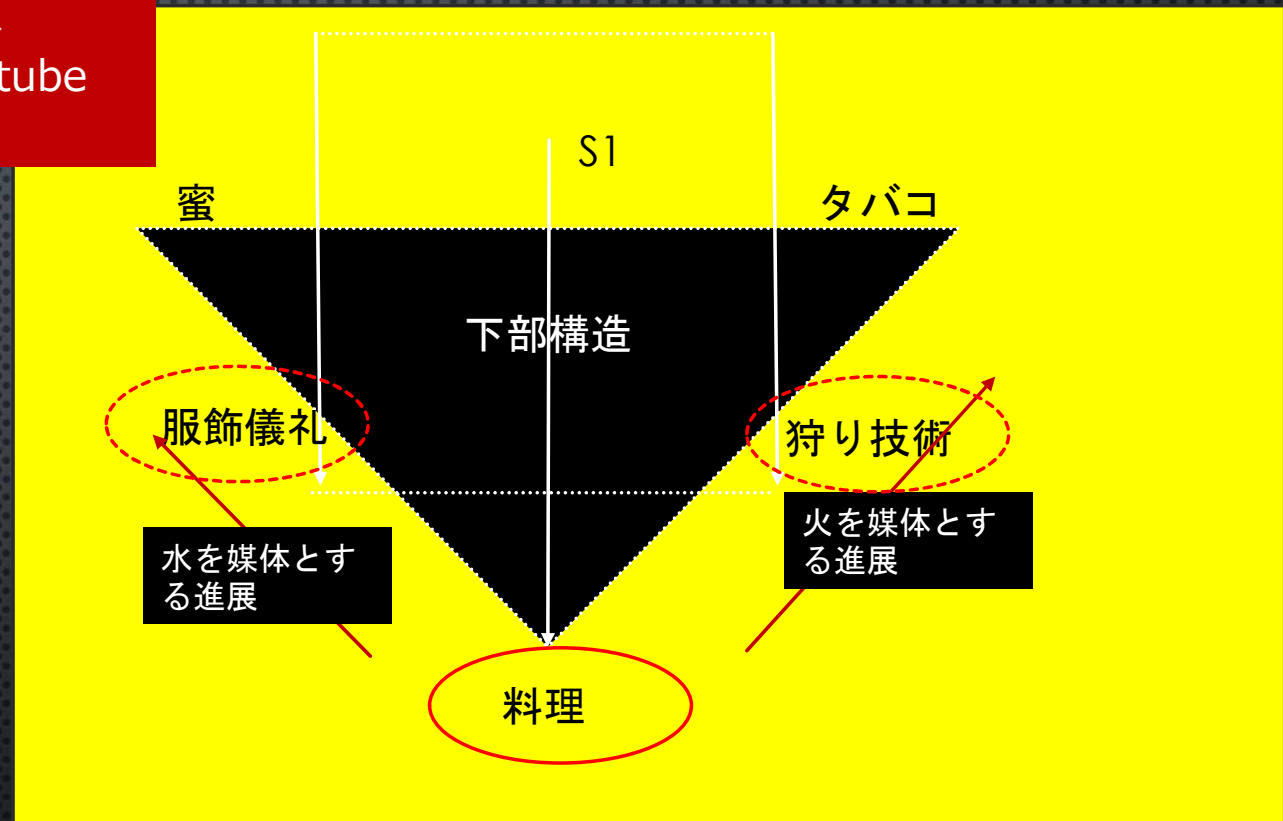
A la Musique. C...
avec Solo (pour i...
ami). Paroles d...
Musique d'Emm

神話学全4巻
第一巻 生と調理
巻頭の献辞 音楽に捧げ
る A la musique 版權
Emi

参考スライド
神話学 Youtube
第一回

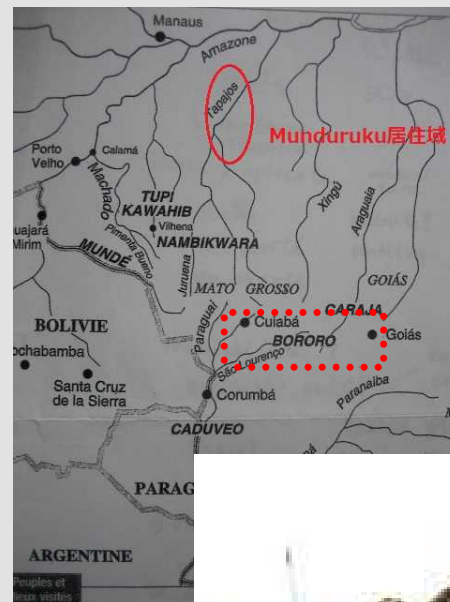
神話 : 2重三角の下部
1 前回 (生と調理1)
料理 (火の創造) の開始
2 水の創造

3 今回
肉の手当
服飾儀礼の確立



野ブタの起源
Munduruku族
Kayopo族 神話

Mundurukú, South American Indian people of the Amazon tropical forest. The Mundurukú speak a language of the Tupian group. They inhabit the southwestern part of the state of Pará and the southeastern corner of the state of Amazonas, Brazil. Formerly, they were an aggressive, warlike tribe that expanded along the Tapajós River and its environs and were widely feared by neighbouring tribes. By the beginning of the 19th century, Brazilian colonists had pacified the Mundurukú and annexed their territory. (Digital Britanica)



交換と役務
嫁を出す側
嫁を貰う側

M16 Mundurucu族 : origine des cochons sauvages野ブタの起源 (Mundurucu族はTupi語族に属す、居住地はジェ語族のKayopoに近接している)

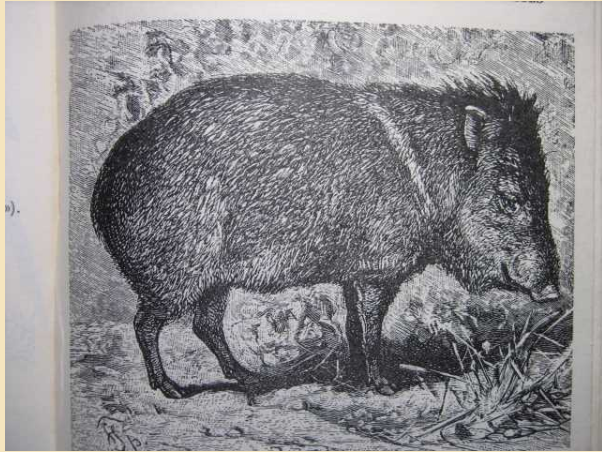
俗神カルサカイベは息子コランタウを連れ狩猟キャンプ地の近くに居を構えた。キャンプ地の族民に姉妹を与えている。族民は、野ブタ (caetetu種) の狩りにひがな野に出向いた。俗神はinhambu (ウズラ種) 猟に専念していた。

« Et chaque jour il envoyait son fils au campement de ses sœurs pour échanger des inhambu contre les caetetus tués par leurs maris mécontents du procédé, les tantes du garçon lui font honte lui jetant seulement les plumes et les peaux... » (93頁)

訳 ; 毎夕、彼は息子をキャンプ地に向かわせ、幾羽かのウズラとその日しとめた野ブタ全頭との交換を申し立てさせた。彼ら (俗神の義弟) は納得しない。兄の手口に不満を持つ叔母はウズラの対価にはこれだ ! 「羽片とブタ皮」を投げつけた。

泣いて手ぶらで戻ったコランタウを見て俗神は「キャンプ地を羽で取り囲め」命じた。その内部にタバコの煙を雲にしてくゆらせた。

神話学 生と調理 婿の役務 不等価交換



Caetetu属

カルサカイベ（俗神）が義弟に申し入れた交換はウズラ数羽と野ブタ10頭
挿絵は本書から



Queixada属ペカリ種

« Les habitants sont étourdis quand le demiurge leur crie : <Mangez votre nourriture> ils croient comprendre qu'ils leur ordonnent de copuler : aussi se livrent-ils aux actes d'amour en poussant les grognements habituels. Ils se transforment tous en cochons sauvages » (同)

住民は俗神（カルサカイベ）が発した「お前等、似合いの食物を喰らえ」の声に幻惑させられ「今すぐに交合せよ」との命令と理解して、ブーブー啼き声を発しておのおのが交尾し始めた。そして野ブタに変身してしまった。この野ブタはQueixada属ペカリ種。

カルサカイベは野ブタに変身した一族を閉じ込め、一頭ずつ柵の踊り場に出し屠殺し村に持ち帰った。
« Dairu (le décepteur) arrache à Korumtau le secret de l'enclos ; mais il laisse les cochons s'échapper »
ダイル（騙し屋）はコランタウから罫みの秘密を聞き取った。豚を盗もうとしたがしくじってすべてが逃げてしまった。野ブタでもQueixada属ペカリ種は、もともとは人間、それが自然に放たれたのだから、いつでも何頭狩っても咎められないとの言い伝えがある。

Caetetuの野ブタには狩りの段取りと制限が設けられる。

M18はKayapo族（ジエ語族の有力部族）：野生豚の起源。

« Campent à l'écart avec son fils, le héros culturel Ooimbre, envoie celui-ci, demander des provisions de bouche à ses parents maternels.

L'enfant est mal reçu et pour se venger Ooimbre confectionne un charme avec des plumes et des et des épine, et s'en sert pour transformer tous les gens du village en pécari » (94頁)

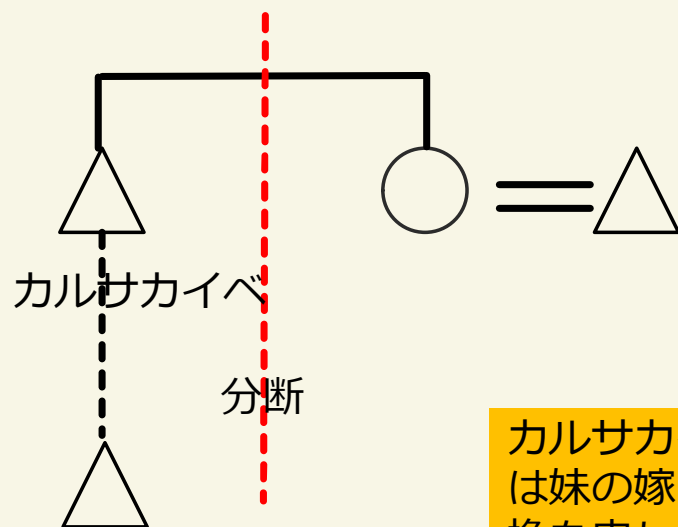
英雄オインベは息子とともに村から離れて露營していた。母の係累に腹の足しを求めるよう息子を遣わせた。子は酷く扱われた。オインベは羽と棘で飾り作った。

子を侮蔑した人々を、その飾りを用いて、豚に変えて閉じこめた。

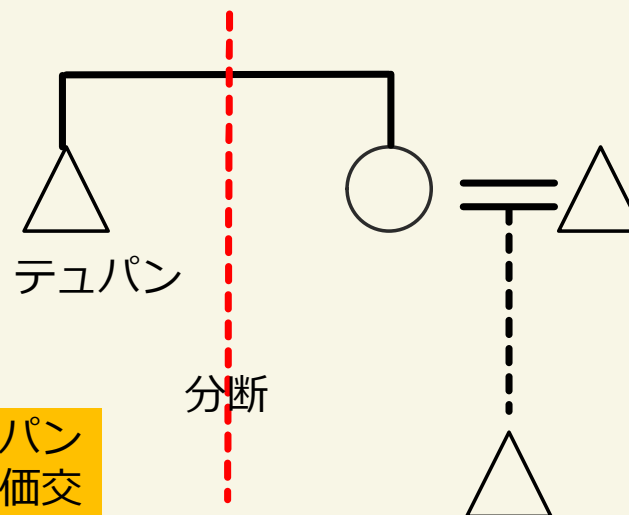
（以下は引用なし）オインベはこれらブタを必要に応じて一頭ずつ屠り、食していた。ある一人（妻の兄弟）が秘密を探り当て毎晩盗んだ。

怒ったオインベは全頭を野に放った。

M16Mundurucu

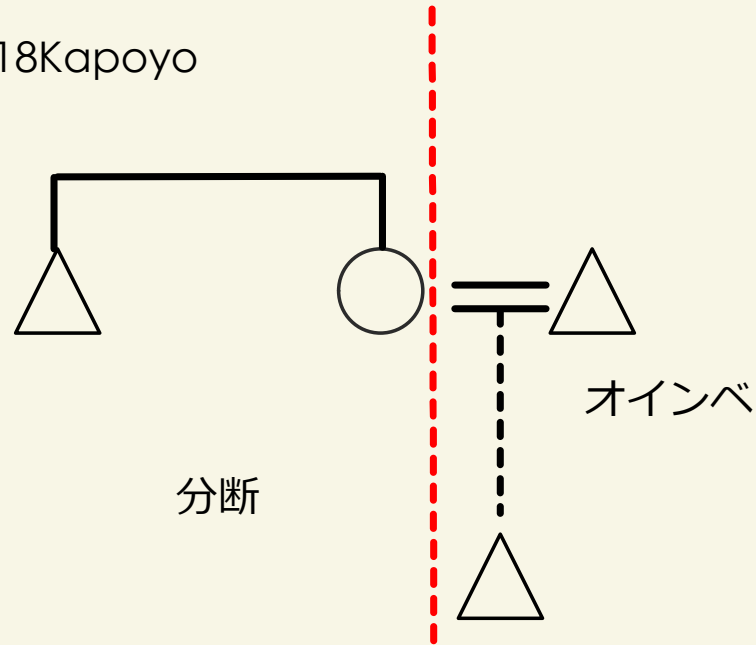


M15Tenetehara



カルサカイベ、テュパン
は妹の嫁ぎ先に不等価交
換を申し入れた。
これは嫁の貰い手が負う
役務

M18Kapoyo



オインベは嫁の貰い手、出し手の義兄に食物を無心した

M18Kayopo族とM16Mundurucu族は隣接している（前述）。しかし神話における姻戚図は同一ではない。M18オインベは「妻を送ってくれた同盟者に食物を無心した。M15,16とは逆となる。この理不尽な逆転をレヴィストロースは色々と理屈を述べ、その結論が

« les mauvais traitements dont un frère de femmes est victime, de la part des maris de ses sœurs (autrement dit, un « donneurs de femmes » est brimé par des preneurs ») 妹の婿から兄（兄弟）が手荒く取り扱われる、別の言い方では女の送り手が、嫁の貰い手から叱責される。

この行動の根源に「同盟をないがしろにし系統を重んじる」行動が、一部の族民に認められると指摘している。例として ; « Un fils refuse de concéder sa mère a son père = c'est ce qu'exprime sa conduite incestueuse =, et le père se venge de la même façon que l'aîné des beaux-frères se venge du plus jeune » 息子は母を父の手に委ねるを拒む（M1、鳥の巣荒らしの趣旨）これは母と息子の上下婚（親子たわけ）に帰結する。父は息子を樹上に遺棄し復讐する、同じく年長の義兄が年の行かない義弟を遺棄する、この姻戚関係も、別の系統間での諍いである（99頁）。

Youtube 神話学講座の第一回に戻る。自然とは連続、系統内の女に姦淫を仕掛ける、これが族内婚、あるいは系統内婚、または系統内での密着。しかし文化とは断絶を基盤にする、欲望の連続を一旦断ち切って、男は族外に女を探す、これが族外婚。M18でOimbe（俗神）は妻を、同盟する系統から貰った。その系統に何がしかの食物を求めた、彼らは拒否した。文化のしきたりに反し、族内だけに耽溺して族外のOimbeを排撃した。文化守護神のOimbeは「けしからん者共め」と掣肘した。

自然と文化の相克、そして文化が自然を征するM1神話からの流れがここでも読める。

レヴィストロースは言及していないがアフリカBantou族の奇習Lobolaに似た慣習が南米にもあるとしたら説明は簡明である。この仕組みは婿が嫁家族に結納として家畜を贈る。その家畜は嫁家族の所有ではなく、こちらの息子が嫁をとる結納に用いられる。族内を循環する交換財となる。紛糾するのは嫁側の瑕疵で婚姻が破綻する時。婿は「贈ったlobola」を返せと迫る。Oimbeが嫁の「出し手」へ財を要求する背景にOimbe嫁に失点があったとしたら分かり易い。レヴィストロースはこれについて語らない。南米にはlobola風習を（民族誌）レベルで確認できなかったのだろう。

Lobolaの解説はGooブログに

<https://blog.goo.ne.jp/tribesman/e/74defa205d964a09220a0b61d8b05b4f>

自然

- 連続
- 近親姦
- 生食
- 過食
- 過猟（漁）
- 役務の破り豚に変身
- 動物界の形成
- 日夜の不定期

文化

- 分断
- 族外婚
- 火の使用、調理
- 罰、疾病
- 自然から報復
- 豚を狩る倫理
- 動物界への侵襲
- 日夜の交代

参考スライド
神話学 Youtube
第一回

M21 野生豚の起源 ボロロ族

« Les hommes allaient à la pêche, ne rapportaient rien. Ils revenaient tristes au village, non seulement d'avoir les mains vides, mais parce que leurs femmes faisaient la tête, et les recevaient désagréablement. Elles en vinrent même à défier leurs maris » 男たちは漁に出る、何も獲れず手ぶらで帰る。彼らがつらいのは女たちのふくれっ面、その上すっかり馬鹿にされてしまった。（この後、女たちはこれから私たちが漁にでると宣言。毎日大漁、魚をいっぱい抱えて戻ってくる）

« Au bout d'un certain temps, les hommes soupçonnèrent quelques ruses. Ils firent espionner les femmes par un oiseau qui les instruisit. Le jour suivant, les hommes se rendirent, à la rivière, appelèrent et les étranglèrent les loutres l'une après l'autre. Une seule leur échappa » しばらく経って男たちはなにかの策略があると疑る。鳥に女達を監視してくれと頼み、鳥が男たちに告げた。男たちは河に出向きカワウソを呼び寄せ、一匹ずつ殺した。一匹だけが逃げお失せた。

« C'était maintenant au tour des hommes de railler leurs épouses, qui n'attrapaient plus rien Aussi voulurent-elles se venger. Elles offrirent aux hommes une boisson faites avec des fruits de piqui dont elles avaient pris soin de ne pas retirer les innombrables piquants entourant le noyau » 今度は男たちが何も持たずに帰る妻たちをバカにする番に回った。しかし妻たちは仕返しを企んだ。Piqui（木の実）の飲料を作る際に棘を混ぜた。飲んだ男たちは « U,u,u.Il se transformèrent en cochons sauvage, dont c'est le cri » ウツウツとしか声を出せなくなって豚に変身した。

婿が嫁にとっちめられる。ボロロ男に立つ瀬はない。

神話 : 2重三角の下部

1 前回 (生と調理1)

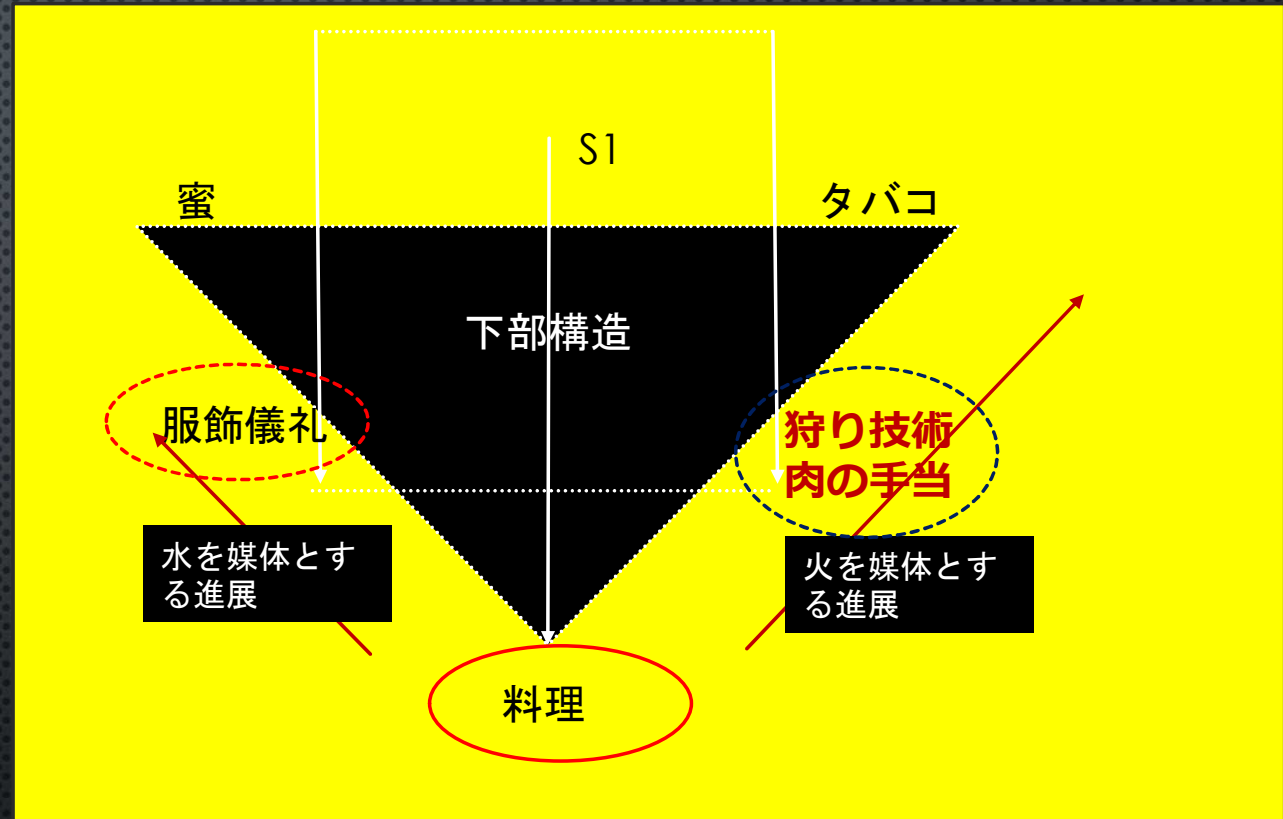
料理 (火の創造) の開始

2 水の創造

3 今回

肉の手当

服飾儀礼の確立



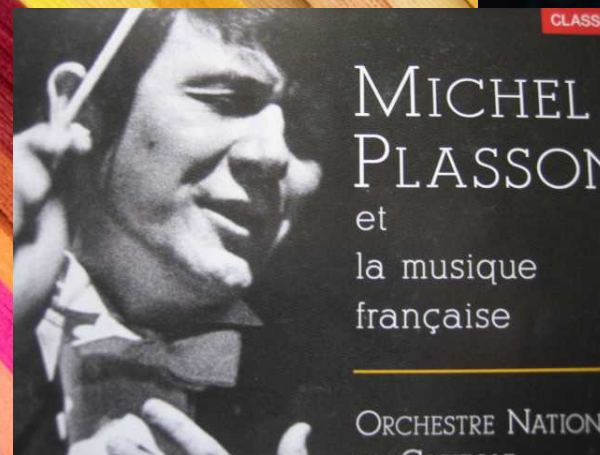


Mythologique
神話学3 生と
調理 2
了

A la musique、Chabrier 曲 プラソン指揮
ソプラノ バーバラ・ヘンドリクス
トゥールーズ国立オーケストラ、Halle
aux grains で収録（1989）



*A la Musique. Chœur pour voix de Femmes
avec Solo (pour inaugurer la maison d'un
ami). Paroles d'Edmond ROSTAND.
Musique d'Emmanuel CHABRIER.*



神話学全4巻
第一巻 生と調理
巻頭の献辞 音楽に
捧げる 版權Emi